

2022年度入学生～ カリキュラムマップ

教育理念		人々の生活と健康を高めるために、豊かな人間性・社会性を培い、ケア・スピリットをもって、科学的根拠に基づく看護の専門的知識・技術を実践に活かせる基礎的能力を養い、多職種と協働しつつ地域社会の保健医療福祉に貢献できる看護実践者を育成する。																
ディプロマポリシー		基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢		看護の基礎的・専門的知識と技術		社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽		(1)社会人としての教養とコミュニケーション力を身につけている (2)多様な考え方や文化的多様性をもつ人々の特徴を理解するための幅広い知識を身につけている		(1)人々の健康レベルに応じた看護を実践する基礎力を身につけている		(1)人々の健康的な生活を支援するために、必要な情報をさまざまな方法で収集し判断する力を身につけている (2)看護の実践に活用するための専門的知識・技術を身につけている (3)自己の課題について振り返り、向上させようとする態度を身につけている		(1)その時代の社会情勢や生活と健康の関連など、看護のニーズを包括的に探求する姿勢を身につけている (2)社会における看護専門職者としての役割を果たすための自律性を身につけている (3)人々の健康課題の解決に向けて連携・協働する力を身につけている (4)社会の動向を踏まえて、看護を開発し創造する意欲を身につけている (5)あらゆる健康レベルにある人々に関心をもち、人として尊重し、その人の最善を目指しケア・スピリット（自ら進んでケアに向かう姿勢）を身につけている				
科目	基礎科目			専門基礎科目			専門科目											
	思考の基礎と方法	自己・他者の理解	生活・社会の理解	健康の理解	保健と環境の理解	基盤の理解	実践の理解	公衆衛生看護の理解※2		看護の統合的理解								
四 年 次	後 期	4 医療英語 1										95 実践看護論 1 96 国際看護論 1 97 ケア・スピリット論Ⅲ（臨床倫理のあり方） 1 102 総合実習 3 104 卒業研究ゼミナールⅡ（研究実施） 2	1 1 1 3 2					
	前 期							57 地域・在宅看護技術論 1 60 地域・在宅看護学実習Ⅱ 2	88 保健医療福祉行政論Ⅱ（実践・演習） 2	91 災害看護論 2 92 感染看護論 1 94 看護管理論 1 99 認知症ケア論 1	1 1 1 1							
	通 年								89 公衆衛生看護学実習 5	100 実践看護学特論 1 103 卒業研究ゼミナールⅠ（研究計画） 2	1 2							
三 年 次	後 期	6 調査と統計 2							56 地域・在宅看護援助論 2	83 公衆衛生看護方法論 2 86 公衆衛生看護管理論 1 87 疫学・保健統計Ⅱ（分析・評価） 1	90 エンドオブライフケア論 1 93 看護教育論 1 101 看護研究方法論 1	1 1 1						
	前 期					39 ボランティア論 1 41 疫学・保健統計Ⅰ（基礎的知識） 2 42 保健医療福祉行政論Ⅰ（基礎的知識） 2		58 保健医療福祉連携論 1 59 地域・在宅看護学実習Ⅰ 1	82 公衆衛生看護学概論 2 84 公衆衛生看護活動論Ⅰ（ライフサイクル別） 1 85 公衆衛生看護活動論Ⅱ（問題・課題別） 1	98 がん看護論 1	1 1 1							
	通 年								65 成人看護学実習 4 69 老年看護学実習 3 73 母性看護学実習 2 77 小児看護学実習 2 81 精神看護学実習 2									
二 年 次	後 期	3 英語Ⅱ（応用） 2	17 人間の生と死 1 18 比較文化論 1	19 人間と文化 1 20 みちのくの文化 1		37 ヘルスプロモーション論 1 38 チームケア論 1 40 公衆衛生学 1		52 ケア・スピリット論Ⅱ（看護倫理のあり方） 1 54 家族看護論 1	55 地域・在宅看護学概論 2 64 急性期看護論 2 68 老年看護技術論 1 72 母性看護技術論 1 76 小児看護技術論 1 80 精神看護技術論 1									
	前 期			21 家族とジェンダー 1	29 疾病治療論Ⅱ（外科学） 2 30 疾病治療論Ⅲ（母性） 1 31 疾病治療論Ⅳ（小児） 1 35 臨床栄養学 1 36 臨床薬理学 1		50 療養援助技術論 2 51 看護過程論 1 53 療養援助実習 2	62 成人看護援助論 1 63 慢性期看護論 2 67 老年看護援助論 2 71 母性看護援助論 2 75 小児看護援助論 2 79 精神看護援助論 2										
	通 年	9 健康とスポーツ ※3 2																
一 年 次	後 期	2 英語Ⅰ（基礎） 2	15 人間関係 1		27 病態生理学 2 28 疾病治療論Ⅰ（内科学） 2 32 メンタルヘルス論 1 33 感染免疫学 2		46 生活援助技術論 2 47 看護理論 1 48 ヘルスアセスメント 1 49 生活援助実習 1	61 成人看護学概論 1 66 老年看護学概論 1 70 母性看護学概論 1 74 小児看護学概論 1 78 精神看護学概論 1										
	前 期	1 ケア・スピリット論Ⅰ 2 （倫理のあり方） 5 情報リテラシー 2 7 環境生態学 1 10 看護の基礎化学 1 11 看護の基礎物理 1 12 看護の基礎数理 1 13 看護の基礎生物 1	14 対人コミュニケーション 1 16 人間と心理 1	22 日本国憲法 ※3 2 23 社会と福祉 1	24 生化学 1 25 形態機能学Ⅰ（解剖学） 2 26 形態機能学Ⅱ（生理学） 2 34 生涯発達論 1		43 看護学概論 2 44 早期体験実習 1 45 基礎看護援助論 2											
	通 年	8 基礎ゼミナール 2																
単位数	卒業要件：124単位以上修得（科目数：104、必修：118単位、選択：36単位）										必修21単位、選択2単位以上		必修24単位、選択1単位以上		必修61単位		必修12単位、選択3単位以上	
カリキュラムポリシー	基礎科目は基礎力をもった社会人としての教養と、コミュニケーション能力に重点を置き、多様な考え方や文化的多様性をもつ人々の特徴を理解するために、「思考の基礎と方法」「自己・他者の理解」「生活・社会の理解」の3科目を設置する。			専門基礎科目は看護の対象理解として、科学的な根拠に重点を置き、健康（健康課題も含む）の理解のために、「健康の理解」「保健と環境の理解」の2科目を設置する。			専門科目は科学的根拠に基づく看護のコアとなる知識と技術、ケア・スピリットに重点を置き、看護の理解のために、「基盤の理解」「実践の理解」を、さらに「看護の統合的理解」として、多職種連携・協働や地域社会、看護専門職者としての成長に重点を置き、「公衆衛生看護の理解」「看護の統合的理解」のあわせて4科目を設置する。											
アドミッションポリシー	1. 看護師または保健師として地域社会に貢献したいと思っている人 2. 人と関わるのが苦ではなく、周囲の人と協力しあって生きたいと思う人 3. 人のいのちや尊厳を大切に、他者への思いやりのある人 4. 大学で学ぶために必要な基礎知識および自ら進んで学ぶ力を持っている人																	

○科目名の左の数字は、シラバスの「科目記号」と対応しています。右の数字は単位数を示しています。

- ※1 青字は選択科目
- ※2 「公衆衛生看護の理解」は保健師課程のみ必修科目
- ※3 保健師課程を選択予定の学生で、養護教諭二種免許取得を希望する場合は必修科目